可愛い配当（1951）

FATHER'S LITTLE DIVIDEND

メディア 映画
ジャンル コメディ　ドラマ　ロマンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 82分
初公開日 1953/03/20
公開情報 ＭＧＭ

【解説】

好評「花嫁の父」の続編で、結婚の当然の結果としてリズ夫妻に子供誕生という事になり、周囲の大騒ぎがお話の中心。トレイシー扮する父スタンリーは、娘のケイも嫁に出し、いよいよ悠々自適の心境。“よい知らせ”があると言う娘のアパートに赴くときには、妻にフルムーンのハワイ旅行の誘いなどしてご機嫌だったが、それが妊娠の報告とあって、婿殿バクリー（Ｄ・テイラー）の両親、ダンケン夫妻や妻エリー（ベネット）のようには何故かはしゃげない。つまり、お爺ちゃんになるってわけかーー。まだ若いつもりのスタンリーにそれ相応に老け込む覚悟はない。早速ジムに通って張り切るが、翌朝は起き上がれもしない。とは言え、ダンケン家と子供の物を買い競い、彼らの新居の心配（若夫婦はしっかりローンを組んで、これを購入していた）などするうち、だんだんその気になってくる。しかし、胎教にクラシックを聴きながら、まだ産まれぬ子の名前をめぐって両家でもめるのには、ケイと共にヘキエキとしてしまう。臨月も近付いたケイが夫の残業で遅いのを浮気と勘違いして里帰りするくだりはまずお約束。続く、いよいよ出産か、の報にエリーの荒っぽい運転で駆けつける場面はあまり弾まず、その後の、焦躁で不眠になって睡眠薬を服用し、肝心なときに二度寝をしようとするスタンリーには笑える。産まれた子は彼になつかず、公園を散歩して少年たちとサッカーに興ずるうちに乳母車ごと行方不明に。結局、警察に保護されていた坊やをおそるおそる抱くとニッコリ天使のように微笑んで、ここですっかり彼も赤ん坊の虜となる。そして生後６ヶ月目の洗礼式。バクリーの告げた名前は彼と同じ“スタンリー”だった。全体的にエピソード不足で前作の緻密さはないが、あの感動作のいわばカーテン・コールとして気楽に楽しむべき作品である。

【クレジット】

監督	ヴィンセント・ミネリ	Vincente Minnelli	
製作	パンドロ・Ｓ・バーマン	Pandro S. Berman	
原案	エドワード・ストリーター	Edward Streeter	
脚本	アルバート・ハケット	Albert Hackett	
	フランセス・グッドリッチ	Frances Goodrich	
撮影	ジョン・アルトン	John Alton	
編集	フェリス・ウェブスター	Ferris Webster	
音楽	アルバート・センドリー	Albert Sendrey	
出演	エリザベス・テイラー	Elizabeth Taylor	ケイ・ダンスタン
	スペンサー・トレイシー	Spencer Tracy	スタンリー・バンクス
	ジョーン・ベネット	Joan Bennett	エリー・バンクス
	ビリー・バーク	Billie Burke	ドリス・ダンスタン
	ドン・テイラー	Don Taylor	バックレー・ダンスタン
	ラスティ・タンブリン	Rusty Tamblyn	トミー・バンクス

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

モローニ・オルセン　Moroni Olsen　ハーバート・ダンスタン
リチャード・ローバー　Richard Rober

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.